いしかわ総合スポーツセンターの令和５年度管理状況

様式１

施設所管課	石川県文化観スポーツ部スポーツ振興課
施設管理者	石川県スポーツ協会グループ
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月３１日
中期経営目標 （R4～R8）	① 利用者数については、45万を目標とします。 ② 利用者アンケートによる満足度において、利用者サービス・施設の維持・管理は引き続き９５％以上を目指します。

１　中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1)　実績

項　目	実施内容
①　サービス向上・利用促進	【トレーニングルームリニューアル】 ・トレーニング機器更新（総入れ替え） ・測定機器更新（一般体力測定システム及びInbody970更新） （専門体力測定：エアロモニタ新規導入、バイオミル及びBiodex更新） ・デジタルサイネージを使っての情報発信 【接遇及びお客様対応】 ・年1回の接遇研修を実施しています。 ・苦情への早急な対応のため職員への周知を徹底しています。 ・体育施設管理・運営方法の見識を高めるため体育施設協会研修会に参加しています。 ・団体見学には可能な限りスタッフが同行し説明を行っています。 ・窓口、電話での問い合わせに対し、その都度早急に対応しています。 ・人の出入りが多くなる大会・イベント等にはスタッフによる検温等を行い、安心安全な運営に努めています。 【自主事業等の開催】 ・県民の健康づくりへの意識を高めるためにISC教養講座（年3回）を実施 ・自主事業の参加者を対象にアンケート調査を実施し、参加者や県民の幅広い年齢層のニーズに対応できるよう努めている ・アスリートの底辺拡大として「走り方教室」等の内容で子ども向けのセミナーを実施 ・アスリート向けにコンディショニング、栄養相談を実施（月1回） ・1回からでも参加できるレッスンプログラムを提供
②　広報活動	【施設の情報提供・広告・広報】 ・ホームページの充実　https://www.ishikawa-spc.jp/index.html 最新情報・イベント情報などの定期的な更新・運動紹介 ・ネット環境のない場所でも、携帯を持っている人なら誰でもスポーツセンターの情報を取得できるよう携帯用サイトによる情報発信および施設案内を行っている ・メールマガジン登録者に、1週間に1回程度メルマガ配信を行い、館内の様々なイベントやメンテナンス休館などの有益な情報を提供 （配信者数　約2,847名　令和6年3月31日現在） ・フェイスブック、インスタグラムを活用し、有益な情報を提供（FB　約225名、インスタ約724名） ・金沢駅デジタルサーネージにてトレーニングルームリニューアルPR動画（令和6年2月～3月） ・パンフレット（自主事業用）2,000部　（施設案内用）1,000部作成 ・地元紙に紹介記事の掲載を依頼（イベントや全国クラスの大会等）

(2)　令和６年度における取組内容の見直し等

実施内容
・ＩＳＣ教養講座（6回/年）無料 ・ＩＳＣ特別講座 様々な内容を実際に体験し、運動に関する知識や必要性などを知っていただき利用者増加につなげていく取組み （筋トレ、睡眠、ウオーキング、コレステロール、姿勢など） ・イベントの充実 様々な企画を行い運動プラスゲーム感覚で楽みながら運動を継続していただく取組み （開館記念、七夕、クリスマスなど） ・ジュニアアスリートセミナー 瞬発力、体幹トレーニング、動作視力など様々な身体の使い方などのセミナーを行い、アスリートの利用者増加につなげる取組み （瞬発力、体幹ＴＲ、動作視力、栄養、コーディネーショントレーニングなど） ・アスリート養成底辺拡大事業 運動教室を通して子供の身体能力の向上と運動を好きになってもらい利用者増加につなげる取組み （走り方教室、運動教室など） ・ISCレッスンの充実 誰でも気軽に参加できるISCレッスンの充実を図り新規利用者増加につなげる取組み ・少人数制スクール（避難所となりレッスン開催できない代わりとして、少人数制スクールとしてヨガスクールの開催） ・企業の健康経営に繋げる健康づくり事業の開拓 ・地域の婦人会や老人会の方々に体力測定の実施から運動の実践までのサポートを行い運動継続につなげる取組み ・パーソナルサービスの拡大 スタッフによるパーソナルの充実を図り運動継続につなげる取組み （水泳、水中動画撮影、トレーニング、ストレッチ、スポーツビジョン、栄養）

２　中期経営目標の進捗状況

測定指標	R1度（基準値）	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比	基準値比	R8年度（目標値）
(1) 利用者数（人）	450,000人	265,867人	381,042人	346,414人	90.9%	77.0%	450,000人
(2) 貸館稼働率(%)					.0ポイント	.0ポイント	
(3) 利用者アンケートにおける満足度							
利用者サービス(%)	92.5	93.9	97.9	95.9	-2.0ポイント	3.40ポイント	95.0
施設の維持管理(%)	95.1	87.8	97.9	98.1	.20ポイント	3.0ポイント	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

＜利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由＞

指　標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	新型コロナウイルス緩和による専用利用、個人利用者数は増加しました。 令和6年能登半島地震による1.5次避難所の開設により、メインアリーナ、サブアリーナ、マルチパーパス、会議室1.2.3が避難所となり専用利用者数は大幅に減少しました。	令和6年能登半島地震による1.5次避難所の開設により、稼働率は大幅に減少しました。

＜利用者アンケート結果（令和５年４月～令和６年３月実施　有効回答数73件）＞

項　目	回　答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	56.3	39.6	2.1	2.0
施設の維持管理(%)	70.3	27.8	1.9	0.0

３　施設等の維持管理

項　目	実施内容
(1) 清掃	・日常清掃＝常時日勤2名、朝3名、夜2名のパートを常駐させ、 使用頻度の多い場所を中心に実施 ・定期清掃＝2～3名で空いている場所より随時実施 ・硝子清掃＝1～2名で随時実施。高所作業車使用時は3～4名で 4日位の作業を実施 ・構内清掃＝1回/日は点検見回りを実施 ・人員を増やし、トイレ・喫煙室等の清掃頻度を大幅に上げて避難所に対応。
(2) 設備保守点検	・空気環境測定　1回/2か月 （CO2、CO、浮遊粉塵濃度、気流、温度、相対湿度の測定）8か所 ・上水・雑用水残留塩素測定　1回/週（木曜） （残留塩素濃度・Ph測定）6か所 ・飲料水法定水質検査　1回/6か月 （大腸菌、硝酸態窒素、鉄及びその化合物、塩化物イオン、 カルシウム・マグネシウム等、有機物、色、濁り、PH、 残留塩素、臭気、その他） ・雑用水水質検査　1回/2か月（大腸菌、濁度） ・受水槽の清掃と点検　1回/年　11/7実施 （外観点検、ポンプ、ボールタップ、定水位弁、電極棒、制御盤） ・雑用水槽の清掃と点検　1回/年　11/7実施 （外観点検、ポンプ、電極棒、制御盤） ・雑排水槽・湧水槽の清掃と点検　2回/年　7/6・1/13実施 （外観点検、通気管、水中ポンプ、制御盤） ・自家用電気工作物月次点検　1回/月 （受変電設備、配電設備、負荷設備、発電設備、外観点検、 漏れ電流測定） ・自家用電気工作物年次点検　1回/年　10/20実施 （外観点検、接地抵抗測定、高圧絶縁抵抗測定、 低圧絶縁抵抗測定、保護継電器試験） 等、計５８点検実施 自動ドアの作動回数過多２箇所、センサー感度低下（６箇所）、駆動プーリ劣化（７箇所）、ハイサイドスクリーン２２箇所故障中、生地緩み・光漏れ　３５箇所　等

(3) 植栽維持管理	・高木剪定　年３回 ・高木施肥　年１回 ・低木刈込み、剪定　年４回 ・低木施肥　年１回 ・芝生刈込み　年５回 ・芝生施肥　年２回 ・目土散布　年１回 ・除草、病害虫駆除　適宜
(4) 警備	・館内外巡視業務（警備員１名）６回/日 ・監視業務（警備員１名、カメラ監視）　４回/日 ・機械警備セット時の防犯、火災、設備対応 （警備会社のセキュリティーセンターで常時３名以上の ２４時間３６５日対応） ・避難所の巡回・監視業務
(5) 小規模修繕	消防設備修繕（一式） トイレ便器水漏れ修繕（一式） トレッドミルドライブベルト修繕 ラミネーター修理（１台） 等、計43修繕実施

４　管理運営体制

項　目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・緊急時における各手順書　・自動通報時対応手順 ・事故停電対応手順　・漏電事故対応手順 ・自火報等作動時対応手順　・屋内消火栓漏水対応手順 ・漏油事故対応手順　・自然災害時対応手順 ・漏水事故対応手順　・ＳＰ放水事故対応手順 ・緊急時連絡体制表の表示
(2) 個人情報の管理状況	・職員向けに個人情報保護に関する研修を実施 ・利用者のデータベースおよび入退館管理システムを閲覧できるＰＣはインターネットなど外部接続を制限しているほか、ウイルス対応ソフトも入れている。また、外部の人間が閲覧できないようパスワードによるアクセスとなっている ・体力測定等の個人データを有するトレーニングルームのスタッフには、個人情報保護に関する誓約書に署名させ遵守するよう指導させている ・体力測定時に「インフォームドコンセント」として測定データなどの個人情報の適切な取り扱いに対し、署名を行っている

５　収支状況

(1)　使用許可等の状況

（単位：件）

項　目	許可件数	不許可件数	不許可理由
メインアリーナ	1,313	0	
サブアリーナ	965	0	
マルチパーパス	1,273	0	
プール	637	0	
会議室	684	0	
合　計	4,872	0	

(2)　使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項　目	収入額	減免額	減免理由
メインアリーナ	76,683	22,301	石川県体育施設管理規則第15条の規定による ・石川県が主催する競技会等 ・県スポ協加盟団体が主催する競技会 ・障害者団体が主催する競技会等 ・大会の準備または整理に使用
サブアリーナ	25,584	5,933	
マルチバーパス	8,408	1,206	
トレーニングルーム	37,144		
プール	4,214	525	
アリーナ	1,029		
会議室	14,018	2,232	
体力測定	1,416		
合　計	168,496	32,197	

(3)　収支決算

（単位：千円）

収　入		支　出	
指定管理料	155,466	人件費	44,081
利用料収入	168,497	光熱水費	115,324
受取利息	1	管理費	155,649
雑収入	5	１　委託費	133,066
		２　什器備品	1,459
		３　消耗品費	4,371
		４　印刷製本費	273
		５　賃借料	738
		６　保険料	626
		７　修繕費	3,428
		８　租税公課	8,367
		９　通信運搬費	1,655
		１０　旅費交通費	128
		１１　雑費	1,538
合　計　　①	323,969	合　計　　②	315,054
収支差額　①－②	8,915		

６　利用者からの意見、苦情、要望

年　月	内　容	対　応
	送迎車両が駐車場ではないエリアに停車していることが多々ある	巡回、声掛け、張り紙等での案内で対応していきたい
	トイレの便座が冷たく冬寒すぎて困る	現状での対応は厳しいが、課内及び県と検討し改善できるものは対応していきたい
	シャワーのカビがすごすぎて不潔すぎる	定期的な清掃業務により改善していきたい
	障害者ロッカーの下に子供の荷物がたくさん置いてあり障害者への配慮がない	巡回、声掛け、張り紙等での案内で対応していきたい
	更衣室内の匂いが気になります	定期的な清掃業務により改善していきたい。改善されない場合には、、課内及び県と検討し改善できるものは対応していきたい
	障害者駐車場に健常者で利用している方は多くいる	巡回、声掛け、張り紙等での案内で対応していきたい
	冷水器の故障期間が長すぎる	現状での対応は厳しいが、課内及び県と検討し改善できるものは対応していきたい
	トイレ全てにウォシュレットを設置してほしい	現状での対応は厳しいが、課内及び県と検討し改善できるものは対応していきたい
	レッスンの備品を新しくしてほしい	対応可能か課内で検討し改善できるものは対応していきたい
	利用方法が不便。会員証ではなく券売機のチケットでチェックインできるようにしてほしい	現状での対応は厳しいが、課内及び県と検討し改善できるものは対応していきたい
	１時間利用料金を作ってほしい	現状での対応は厳しいが、課内及び県と検討し改善できるものは対応していきたい

７　事故、故障等

年　月	内　容	対　応
令和6年1月1日	令和6年能登半島地震の影響により、メインアリーナ照明1台、マルチパーパス非常用照明1台が落下しました。	維持管理課による全照明器具の緊急点検整備で対応しました。

８　その他報告事項など

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、スポーツセンターが1.5次避難所となったため、令和6年度に予定されていた大会はすべてキャンセルとなりました。

９　評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	・アンケートや利用者の意見をできるだけ反映し、ハード面・ソフト面の改善等柔軟性をもった管理運営を行っている ・誰でも参加できる豊富な各種スポーツ教室や楽しみながら運動できるレッスンプログラムの充実を図っている ・大学、病院等と連携したスポーツ医科学事業を展開し、トップアスリートや指導者の育成を図り、競技力の向上に努めている
(2) 施設等の維持管理	B	・定期的にメンテナンス日を設け、設備・備品の点検を行い利用者の安全確保に努めている ・機器、備品の取り扱いについてはスタッフが立ち会い、事故防止に取り組んでいる ・エントランスの間接照明や事務所の照明をLED化することにより省エネルギーに努めている
(3) 管理運営体制	B	・適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修等が十分になされている ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である
総合評価	A	・競技力向上や県民がよりスポーツに親しみやすい環境づくりに基づいた管理運営がなされている

○　評価基準

Ａ（優）　：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
Ｂ（良）　：仕様書等に定める水準を上回っている
Ｃ（可）　：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
Ｄ（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○　総合評価

Ａ（優）　：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
Ｂ（良）　：優れた管理運営がなされている
Ｃ（可）　：適正な管理運営がなされている
Ｄ（不可）：改善が必要である

10　助言・指摘事項